

南部支部事業におけるルールについて

1 大会参加チームの責務

(1) 大会参加申し込み期限の遵守

- ・期限後の参加申し込みについては、いかなる理由があっても認められない。なお、大会参加申し込み開始時及び参加申し込み期限約 1 週間前に、競技担当から全チーム宛にリマインドメールを送付する。

(2) 諸連絡に対する返信

- ・期限までに指定された送付先に返信すること。

(3) 出場資格の順守

- ・大会要項で定められた選手の登録期限を順守すること。  
⇒参加資格の無い選手をメンバー表に記載した時点でルール違反となる。当該試合に出場したかは問わない。R7リプロカップは 7 月 1 日です。
- ・指導者資格を有している方が大会当日に、不在となる場合は、速やかに、南部支部競技担当に連絡し、その指示により対応すること。
- ・審判資格を有している方が大会当日に、不在となる場合は、速やかに次の対応を実施し、ブロック内チームに周知する。「自チームで他チームの審判員（他カテゴリー所属審判も可）に依頼する」⇒「ブロック責任者と協議のうえブロック内の他チーム審判員に依頼する」⇒「南部支部審判担当に連絡する」

(4) 大会会場使用上の注意の順守【公共体育館及び小学校会場】

- ・各大会で案内する公共体育館又は小学校会場の注意事項（開場時間、駐車台数等）を順守すること。
- ・定められていない事項については、大会役員や会場責任者の指示に従うこと。

(5) チーム関係者への周知

メール等で各チームに案内された通知については、**大会に参加するチーム関係者（指導者、選手、保護者、OB等）すべてに周知徹底**すること。

(6) 会場の確保

全ての大会において、会場確保が困難となっている状況のため、参加チームにおいては、会場の確保について積極的なご協力をお願いしたい。

(7) 大会ルールの把握（ルール改正への対応）

U12 ルールはもちろんです、MC や TO についても、ルール改正が行われる場合があるため、JBA や埼玉県 U12 部会、U12 部会南部支部からのメールを確認しチームへ周知すること。

(8) 大会日程調整

近年、『練習試合』『チーム行事』『指導者不在』等により大会に参加できないチームがあるため、雛形通りのスケジュールで大会開催ができない。』との相談が寄せられ

ている。大会日程調整の対象となる事項は「学校行事」「各市内公式大会」「県や南部支部が推薦したカップ戦」のみである。特定のチームのその他の理由によって、雛形と異なるスケジュールによる大会開催は原則認められない（雛形通りの開催であれば各チームの事情を考慮した日程調整を妨げるものではない）。ブロック責任者及び会場提供チームの負担軽減、公平性の観点からもご協力ください。

また、「学校行事」「各市公式大会」「県や南部支部が推薦したカップ戦」によって、雛形通りのスケジュールが作成できない場合は、正式決定前に南部支部競技担当に相談すること。

また、予選ブロックの日程調整の正式決定時期は、「ブロック責任者から競技担当へ報告した時点」とする。そのため、競技担当に報告後、何らかの理由で選手が10名揃わない場合、当該チームは棄権となる。

#### (9) 大会スケジュールについて

次の①～④の理由により、1チームが実施する試合は、原則として、1日に2試合以内とする。なお、学校行事及び大会会場の制約により、1日に3試合を実施することはやむを得ないが、各チームにおかれましては、雛形通りの大会スケジュールの作成にご協力をお願いしたい。

- ①効率性、会場校の負担軽減、経費削減の観点を除き、小学生の選手のコンディションだけを考えれば、気温や天候に関係なく1日に2試合までがよい。
- ②1日3試合のスケジュールの場合、試合や審判が連続になるなど、公平性に欠ける場合がある。
- ③リプロカップや冬季リーグ、U11大会では、1日3試合を慌ただしく戦うのではなく、1試合ずつしっかり戦ってほしい。
- ④会場校の負担軽減については、複数校に会場を分けることで解決したい。

#### (10) 大会の見学について

公共体育館の大会を見学する場合は、駐車場等の会場使用上の注意事項を厳守すること。また、小学校会場の大会を見学する場合は、事前に会場責任チームの了承を得て、会場使用上の注意事項を確認すること。

#### (11) 順位決定戦について

学校行事により、順位決定戦への出場が困難な場合は、参加チームが棄権とならないように、スケジュール変更（夜間開催の場合有）や大会予備日の活用により、順位決定戦を実施する場合がある。ただし、大会日程と大会会場の関係で、それらの対応が不可能な場合がある。

#### (12) ベンチ及び応援席のマナーについて

バスケットボールのゲームは、ゲームに関わる関係者のみならず、観客の存在も欠かすことができません。プレーヤー、コーチ、レフェリー、観客も含めてゲームの価値を高める努力をすることが必要です。そして、そのためにはコーチの振る舞い（行動や行為）も非常に重要になってきます。コーチの振る舞いは、ゲームに関わる関係者（プレーヤー、レフェリー）に直接影響があるだけでなく、ゲームを観ている観客

の方々にとっても大きな影響を与えます。そこで、コーチの振る舞いについてある一定の基準を設けてテクニカルファウルの対象とし、ゲームの価値を下げない取り組みを推進することとしました。

保護者の方々の応援は、ミニバスケットボールの性格上、必要不可欠なものといえます。「JBA バスケットボールファミリー安心安全保護宣言」「クリーンバスケット、クリーン・ザ・ゲーム～暴力暴言根絶～」この2点の趣旨を十分にご理解いただき、選手と指導者と共に大会への参加をお願い致します。

## 2 大会におけるブロック責任者の責務

- (1) 大会会場の調整及び決定
- (2) 対戦スケジュールの作成及び参加チームへの送付
- (3) 大会申し込み時のメールアドレスに関してはブロック内チームに開示します
- (4) 参加チームの大会出場資格（選手・指導者・審判）の確認
- (5) 競技担当へ指定様式により試合結果の報告（大会当日 20 時×切）

## 3 大会における会場責任者の責務（小学校会場に限る）

- (1) スコアシートの作成
- (2) 会場設営
- (3) 参加チームへ会場使用上の注意の説明

## 4 チーム指導者及び帯同審判

大会の円滑な運営に寄与し、チーム所属選手が安心して大会に参加するために、各チーム1名以上の専属（男女のチームを重複登録するのであれば2名以上）の有資格指導者及び有資格審判員の育成に努めること。なお、公式戦の帯同審判については、原則として、チーム内の最上位ライセンス保有者が行うことが望ましい。

なお、大会スケジュールによっては、「審判・MC・TO 主任」と3名が必要な場合があるため、チームでそれらの育成に努めること。

## 5 チーム帯同MC（マンツーマンコミッショナー）

南部支部秋季大会及び南部支部 U11 大会については、原則として、帯同MCを配置するため、各チームにおいて、帯同MCを実施できる指導者を育成すること。なお、マンツーマンについては、各チーム指導者が理解し、選手に指導すること。

## 6 TO（テーブルオフィシャルズ）

14秒ルールが導入されたが、今後も、ルール変更への対応が予想されるため、各チームの責任において、「ルール及びTO担当からの周知事項」を選手に確実に伝達すること。なお、大会におけるTOについては、チーム内で最も習熟した選手が行うこと。また、TO主任は指導者やバスケットボール競技規則を熟知した保護者等が担当し、TO

要員への支援を行い、試合のＴＯについて責任を持つこと。

## 7 暴言・暴力・ルール違反に対する対応

暴言・暴力・ルール違反に対しては、バスケットボール競技規則、ＪＢＡ各種規定、インテグリティ委員会通知、南部支部各種通知等に基づき、厳格に対応していく。そのため、上位大会・カップ戦への推薦取り止め、支部大会への出場停止、指導者又は保護者の指定講習会受講、顛末書の提出等の処分を実施する場合がある。

※ＪＢＡの暴力行為等通報窓口 通報フォーム⇒指導者等がバスケットボール活動時において暴力・暴言等の不適切な行為（同条、対象行為）を行った場合は、このフォームを用いてＪＢＡに通報することができます。各チーム所属の指導者及び保護者に周知をお願いいたします。

<http://www.japanbasketball.jp/reportform/>

## 8 連絡事項に係るチーム内周知徹底方法の構築

連絡事項は、ＪＢＡシステムで各チームにおいて登録した「責任者宛て」にメールで通知する。「責任者」は複数人の登録が可能である。

なお、連絡事項に対する対応（意思決定）は、指導者が責任をもって行い、併せてチーム内に周知徹底する方法を構築すること。

## 9 招待大会への推薦

依頼元の推薦基準を優先する。多くのチームを推薦する。直近の大会成績・インテグリティに関する指導状況・Ｕ１２事業の運営への貢献度等を考慮する。スポーツ少年団等他団体の推薦については考慮しない。

## 10 その他

SNSによるチーム情報の配信（YouTubeによる試合の配信等）については、自チームや対戦チーム等の選手（保護者）への確認をお願いしたい。

例）公式戦や練習試合の動画をアップする際は、トラブル防止のために対戦チームへの確認をお願いしたい。